

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	道路用地管理事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	道路建設課			
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備		主管課長	石井 菊次			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	道路予定用地	意図	工事着工前の道路取得用地に対して、防犯・防災及び安全・環境衛生等に留意し、適正に管理する。
事業内容	工事着工までの間の道路取得用地の適正な管理を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	取得した道路用地等は、適正な管理を実施しており、業務内容の大きな変化はないが、地権者対策としての道路以外用地の管理が増加している。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		草刈り業務委託	5,362	4,893	5,462	m ²	↓↓↓
	防護柵設置工事	0	0	92	m	↓↓↓	
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 道路予定地は草刈等、適正に管理しているが、工事着手に至るまでは、継続的な管理業務の増加が課題となる。
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		3,992,265	2,447,185	2,251,496			
事業費(b)(円)		2,955,765	1,317,685	1,221,746			
うち一般財源		2,955,765	1,317,685	1,221,746			
職員給与費(c)(円)		1,036,500	1,129,500	1,029,750			
人役・職員(人)		0.15	0.15	0.15			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H28)の改善計画	道路事業の早期事業化。	取組の課題	管理を軽減するための対策工法の検討。
今年度(H28)に実施した取組	現在管理している道路用地については、早期事業化が困難な状況であり、適正な管理に努めた。	今後の改善計画	事業残地における公共から普通への管理移動、事業化の困難な道路用地の有効活用を検討する。